

いちのせきの広報誌 Chinoseki I-Style

Stylish & Smiling, Anytime, Anything, By Your Side, With Your Life
<http://www.city.ichinoseki.iwate.jp>

中東北の拠点都市一関の
元気を発信するマガジン

2!

February
2012 No.153

第1特集
酒を造り、地域をつなぐ
**どぶろくに
夢かけて**

第2特集
一関市成人式
まっすぐにハタチ。

シリーズ駅 Vol.02
大船渡線 **折壁駅**

いちのせきを愛する「I」な人
菅原正憲 さん 千厩町
市民劇場「どっから座」座長

PickUp
ものづくりの楽しさを実感
冬休み工作広場
県よい歯のコンクール
3部門で最優秀賞

わたしの夢
三浦大 君 清田小6年

★COVER **岩手の千春から日本の千春へ**

那須千春

女子ソフトボール中学日本代表の主将
2年連続で日の丸を背負い台湾遠征に参加
上市市立北中3年(一関市大東町出身)

あいな人

いちのせきを愛する人

千厩地域市民劇場「どっから座」で座長を務める菅原正憲さん。街の活性化に役買おうと、2000年の第1回公演から携わり、座長に就任して5年目になる。

初めは、演劇なんてしたことのない素人集団。白紙からスタートした。まずは、10回公演を目標に掲げ、手を取り合った。機材の整った施設がなく、道具も衣装もない中で、かつら一個から手作りした。音響や照明も全て地域住民が担った。藤沢、大東両町民劇場との交流の中で、互いに刺激を受けながら、切磋琢磨して前に進んだ。

今では、「どっから座」の知名度は高まり、千厩地域ではよく知られる劇団になった。毎回楽しみに来てくれる人も多い。千厩地域でこれほど長く続いている文化事業は少ない。「まずは、目標の10回公演を何としてもやり遂げたい」と使命感に燃える。

座名の由来はおもしろい。街でよく、知らない人同士が「どっから来たのっしや？」と声を掛け合う。そこから取った。堅くなく、親しみやすい。劇の原作は、千厩地域に伝わる伝説や昔話に基づいて創作。郷土芸能も織り交ぜるなど、徹底的に地元をこだわった。「見てもらう人に、千厩地域の歴史や文化をわかってもらえるはず」と自信をのぞかせる。

一方で、苦勞も多い。常にキャスト、スタッフ、ボランティアなどの人手不足に頭を痛めている。施設には特に苦勞してきた。前回までは暖房設備のない千厩体育館が会場。ジェットヒーターなどで館内を暖めるが、演劇が始まると音響に配慮して止める。「楽しみにしているけど、寒いのが欠点」と

徹底した地元千厩へのこだわり
地域の文化や歴史に触れてほしい



千厩地域の住民が作り上げる市民劇場「どっから座」座長

菅原正憲さん

Sugawara Masanori 46 自営業 千厩町千厩

言われ続けてきた。そのたび「冷蔵庫のような所で演劇を見るのも楽しみでしょ」と自分を励ました。

昨年3月13日は9回目の公演日だった。その前々日、あの大地震が起きた。本番まであと2日。いよいよだとキャスト・スタッフの気持ちが高ぶってきている中での災害。自然には勝てない。会場は被災し、演劇どころではな

かった。中止を決めた。

今年の公演は3月11日。生涯忘れられない日だ。震災から教わった命の尊さや絆を中止になった昨年の演題にプラスして公演する。入場料は1,000円(中学生以下は無料)。昨年のチケットも使用できる。初めて暖房設備のある千厩農村環境改善センターで、多くの人に元気とやすらぎの時間を提供する。

Profile 1965年千厩町生まれ。家業の酒店を継いで25年。街の活性化に協力しようと「どっから座」が設立された2000年から所属。演題、キャスト・スタッフなど徹底的に地元千厩にこだわる。人手不足に頭を痛めながら、裏方に徹する「どっから座」座長。妻、父と3人暮らし。千厩町千厩在住。46歳。



千厩地域市民劇場どっから座第9回公演「新・キツネにだまされた男の話—ギャ〜ンGYA〜N」の台本。人間と動物の共存と命の尊さをテーマに3月11日、千厩農村環境改善センターで初の2回公演を行う。



Local Station

シリーズ 駅 大船渡線 Vol.02

折壁駅

Orikabe_sta.

神々が宿る山に抱かれる駅

市内室根町にある「折壁駅」。旧室根村の中心駅として昭和3年に開業した。「折壁」の地名は県内に4カ所あり、アイヌ語が語源だと言われている。

駅の近くで食料品店を営む小野寺董さん(99)と重男さん(71)が今回の案内人。村の経済・文化の中心だった折壁駅。室根神社特別大祭では多くの人を迎え入れる。董さんは「全盛期は祭りを見る人であふれ、臨時列車が出るにぎわいだった」と当時を語る。

昭和29年まで大船渡線の終着駅として多くの人が行き交った折壁駅も年々利用者は減

少。「終点だった頃が最盛期」と回顧する董さんの表情はどこか寂しげ。重男さんは、同線を含む県内ローカル線が廃線の危機を迎えたとき「岩手ふるさと線を守る会」を立ち上げて活動。「駅前でチラシを配ったことも」と振り返る。

見上げれば室根山。神々が宿る山に抱かれ、四季折々の表情を見せる折壁駅。人々の暮らしを見守ってきた建物は、植木の手入れや雪かきなど自主的に活動する多くの人たちに支えられている。

地域に慕われる駅を出ると上り列車は矢越駅に向かう。



利用する高校生の足が雪に埋もれてかわいそうの思いから雪かきをしています。無人駅になって寂しい限り。自分にできることをやってあげたいです。今では、雪かきとジョギングがいい運動になっています。



菅原武勇さん



左：車窓から望む室根山
右：雪かきの行き届いたホームと懐かしいたたずまいの待合室

案内人

小野寺董さん(左)・重男さん(右)



来年行われる室根神社特別大祭には、多くの方が訪れ、駅前がにぎわってくれるとうれしいです。今年で100歳。これからも折壁駅を見守っていきます(董さん)。

囲い
炉裏
で
愉し
むと
っ
て
お
き



第1特集
酒を造り、地域をつなぐ
どぶろくに
夢かけて

ここにしかない、ここでしか造れない、世界に一つの酒「どぶろく」。
手が掛かる分、量産はできないが、最初から最後まで目を行き届かせ、愛情を注ぎ込むことができる。作り手の顔が見える酒、人情が香る酒は格別だ。
藤沢町藤沢字馬ノ舟にある農家民宿「観樂樓」。里山の農家民宿でどぶろくを携え、地域を活性化しようと奔走する一人の男を追う。

2月の目次 *Menu*

- 02 シリーズ 駅
Vol.02 大船渡線「折壁駅」
- 03 I(愛)な人 いちのせきを愛する人
菅原正憲さん 千厩地域市民劇場「どっから座」座長
- 04 COVER STORY
那須千春さん 上市市立北中3年
- 05 第1特集 酒を造り、地域をつなぐ
どぶろくに夢かけて
- 14 百年目の寿
千葉ナツさん/高橋孝子さん/菅原キクヨさん/清水ツ子コさん/小野寺せつさん/鈴木マサエさん
- 15 表彰
皆川榮司さんが厚労大臣表彰
- 16 まちのトピックス
一関・本寺古曲田家で「もちつき体験と雪遊び」/花泉・油島公民館で「料理教室」/大東・興田公民館で「かまばた教室」/千厩で「一関東地区小学生バレーボール大会」/東山総合体育館で「親子卓球大会」/室根・上折壁児童館で「小正月行事」/川崎保育園で「餅つき会」/藤沢・縄文ホールで「子ども郷土芸能発表会」
- 18 市民の広場
笑顔でGOOD(熊谷和也さん)/キッズ写真館/ふれーふれークラブ(藤沢中)/ウチのこ自慢/図書館だより
- 20 第2特集 一関市成人式
まっすぐにハタチ。
- 24 2月の健康コーナー
2月の健康情報/休日当番医/健康塾(河野暁子臨床心理士)/元気のひみつ(石川澄子さん)
- 26 2月のお知らせ
博物館だより/掲示板/一関文化センター催し物案内/地デジの準備はお済みですか?/募集/催し/講座/相談/お知らせ
- 30 PICK_UP
冬休み工作広場/23年度岩手県よい歯のコンクール
- 32 わたしの夢
三浦大君 清田小6年

COVER STORY

「岩手の千春」から「日本の千春」へ

スポーツをする者なら誰もがあこがれる「JAPAN」のユニホーム。



日本ソフトボール協会全国女子ジュニア優秀選手として台湾遠征に参加する市内大東町出身の那須千春さん(中3)は、昨年に続き、日の丸を背負います。しかも今年はJAPANの主将として。

千春さんは現在、山形県の上山市立北中学校に通っています。「高校でもソフトボールを続け、将来はトップリーグを目指す」という夢をかなえるため、昨秋からふるさと大東町を離れて暮らしています。

2年連続での遠征は全国でも2人だけ。「17人の選手同士のコミュニケーションがうまく取れるように気を配りたい」とチームワークを大事にします。

昨夏の中総体では目標にしていた県大会にはあと一歩届かず、悔しい思いも。その悔しさをばねに8月、大阪府で行われた全日本中学生大会に出場し、堂々16強に。「大東中の仲間と念願の全国大会に出場したことが一番の思い出」と語ります。

台湾遠征は、1月15日から20日まで。ジュニアの強化が目的の遠征だけあって、全国大会で活躍した



選手が多く選抜されています。「全国で一番ソフトボールが楽しいと感じている仲間たち。その中でプレーすることができてうれしい」と語る千春さん。その瞳の先には、次に活躍するステージが映っています。(1月12日、上市市で取材)

PROFILE なす・ちはる

一関市大東町出身。小学2年からソフトボールを始め、摺沢小、大東中時代は投手。昨年も全国のジュニア優秀選手に選ばれ、台湾遠征を経験。100㍎12秒台の俊足とチャンスに強い打撃が持ち味。160㍎、右投げ、右打ち。

いちのせきの広報誌

I-Style

いちのせきスタイル
2012年2月1日号
No.153



I-Style(いちのせきスタイル)は、岩手県一関市が発行する広報誌です。中東北の拠点都市を目指して独自のスタイルで前進する誇り高いいちのせき(Ichinoseki)のインプレッション(Impression=感動)、インテリジェンス(Intelligence=知的情報)とインフォメーション(Information=お知らせ)を伝え、古里の魅力を、価値を、エネルギーを発信する情報誌です。2月1日号の印刷経費は1部28円です。本誌は一関市のホームページでもご覧になれます。旬な情報を画面でもお楽しみください。一関市ホームページ <http://www.city.ichinoseki.iwate.jp>

誕生

豊かな土壌にたっぷりの愛情を注ぎながら、自分でいい米を育てる。大地の恵み、自然の生命力までも感じられる古里の酒だ。

お待たせしました。
これが古里のどぶろくです。



市内第1号のどぶろく

藤沢町で農家民宿「観楽楼」を営む佐藤静雄さん(68)はこのほど、自家製どぶろく「あんちゃんのだぶろく」の販売を始める。国の「どぶろく特区」を活用した市内初の取り組みで、静雄さんは「地域活性化につながれば」と意欲を見せる。

どぶろく特区は、国が認定する構造改革特別区域。特区

内で作った米を原材料に、農家民宿などでどぶろくを造る場合、酒税法の最低製造数量基準(年間6000リットル)を免除する。旧藤沢町は、2011年3月25日付で内閣府から認定を受けた。

静雄さんは、昨年11月に酒類製造業の営業許可を、同12月に酒類製造免許の交付を受け、民宿の敷地内にある酒工房で造り始めた。原料は地元の

水と自家栽培したひとめぼれ。発酵期間を調整することで酸味に強弱をつけ、辛口(酸度の高い赤ラベル)、甘口(酸度の低い青ラベル)の2種類を造る。商品名は「あんちゃんのだぶろく」。第1号は1月11日に瓶詰めされた。「あんちゃん」は「兄」の意味で、小さい頃から家族や地域の人たちに呼ばれてきた静雄さんの愛称だ。瓶ラベルには、静雄さんの

友人菅原恵美さん(47)と千厩町小梨IIがデザインしたあんちゃん

の似顔絵も入れた。

静雄さんは「まずは民宿で販売したい」と語り、将来は飲食店や宿泊施設などに卸したり、祭りやイベント会場で販売したりすることも視野に入れている。

大量生産は難しいため、当面は月約46リットル(1本720リットル入り瓶約60本)ほどの製造を見込む。アルコール度数は15〜16度。価格は1本(720リットル)1600円(税込み)だ。

濁酒と清酒の違いは

どぶろく(濁酒)は、時代劇の居酒屋などで、ガブリとやるあの白く濁った酒だ。日本酒を造る過程で「もろみ」をろ過・殺菌しないことから、濁り酒(にごりざけ)とも呼ばれる。

丹精込めて育てた米を蒸し上げる。湯で溶かした酵母を加えて発酵させる。こうして造られたどぶろくは、ほんのり甘い豊かな風味とまろやかな口当たりが特徴だ。

明治初期には多くの稲作農家が自由に造っていたという。現在は酒税法で厳しく規制され、許可なく造ると酒税法違反に問われる。

目指すは地域活性化

国は03年、地域経済の活性化を狙った規制緩和策として構造改革特別区域を設けた。濁酒の製造免許に関する規制緩和もその一つで、これが通称「どぶろく特区」だ。

特区に適用される規制の特例措置は、農家民宿や飲食店を営む特定農業者による特定酒類の製造事業。つまり、区内でのどぶろくの製造と飲食店や民宿などでの販売が許可されたのだ。現在までに全国110カ所がどぶろく特区に認定されている。

具体的には、民宿を経営する農家が造ったどぶろくを宿



昨年12月28日の初仕込みから8日目の1月4日、発酵させた米のアルコール度数を測定する佐藤静雄さん(左)と工業技術センターの中山繁喜(右)専門研究員

泊客に振る舞ったり、地元のレストランや観光施設で提供したりするなど、醸造・販売が認められている。どぶろくを造ることで人が集い、人が集まることで地域がつながるなど、特区によって活性化した例も少なくない。

だが、▼醸造場所が特区内に限る▼民宿や飲食業もあわせて営む農業従事者でなくてはならない▼自分で作った米を原料にしなければならぬなど制約も多い。

旧藤沢町が特区に認定

本市の藤沢町は昨年3月25日付で内閣府から「どぶろく特区」の認定を受けた。

どぶろくで農家民宿のもとでの質を高め、都市と農村の交流拡大や地域活性化に結びつけることが狙いだ。

第25回特区計画で認定を受けた地域は、旧藤沢町を含む全国17カ所。県内のどぶろく特区は全国第1号の遠野市をはじめ奥州市、平泉町など8市町あり、本市は9カ所目になる。

勝部修市長は「一関地方の特産品としてどぶろくが定着し、地域おこしのきっかけになれば」と期待を寄せる。

古里の酒「どぶろく」 地の米、地の水で造ったこの土地ならではの地の酒がどぶろく。

1 12/28 原料は自家栽培のひとめぼれと地元の清浄な水

原料の米は、静雄さんが自分の田んぼで丹精込めて育てたひとめぼれ。地元の清浄な水(機械で軟水にする)でといだ米16kgを機械で蒸し上げる。蒸し上がったら丹念に広げ、粗熱をとる。人肌ほどに冷ましたら麴と混ぜ合わせる。㊦は指導する工業技術センターの中山繁喜(右)専門研究員。



2 1/4 ずんどうで2週間発酵 うまさのカギは温度管理にあり

冷ました米を麴と混ぜて、ずんどうと呼ばれるステンレス製の発酵容器に入れる。そこに湯で溶かした酵母を加えて発酵させる。発酵中、大事なことは温度管理。微かな温度差が風味に影響するという。寒さの厳しいこの時期は、ずんどうを毛布でくるんで保温し、18℃前後で約2週間管理する。



3 1/11 仕込みから15日目に完成 新酒59本を瓶詰めして貯蔵

ずんどうの中で醸造していたどぶろくのアルコール度数が15度以上になった1月11日、第1号のどぶろく59本を瓶詰めし、貯蔵庫に納めた。工房には近所に住む静雄さんの姉たちも駆けつけて協力。ひしやくですくった新酒を1本ずつ丁寧に瓶に注ぎ、キャップを閉めてラベルを張った。





5



2



1

日常

農家民宿で普段着のおもてなし

囲炉裏を囲んでいただく旬の田舎料理とうまい酒。

家族のようなもてなしで心身ともに満たされる晩餐は言葉にならない。

素朴さ、やさしさ、あたたかさ。おもてなしの原点がここにある。

自然に人が集い、会話が弾む。
築百三十年の古民家に
温かい物語が
生まれる。



6

1) 震災後は被災地の医療を支援するために、全国各地から派遣された医師やスタッフの宿泊場所としても大きな役割を果たした。自宅感覚で過ごせる温かいもてなしと店主の粋な心遣いが医師やスタッフの心を癒やした/2) 周囲を山々に囲まれた観樂樓。絵画のように懐かしい里山の風景は訪れた人を和ませる/3) 気仙大工が数年の歳月をかけて建てた古民家は築130年。ケヤキを使った太さ45~60cmの通し柱や長さ18cmの梁などに圧倒される/4) 囲炉裏を囲み、うまいどぶろくで一杯やる至福のひとつ/5) 客室には自慢の奥座敷を提供。広さ17.5畳、天井高は3.7mもある。「観樂樓」の書は先祖から受け継ぐ家宝。直訳すると「見て楽しむ館」。宿名の由来にもなっている/6) 夕食は、地の食材を使った旬の田舎料理。10品以上のおもてなしに、心もおなかも満たされる



3



4

築130年の古民家

藤沢町の中心部から西へ車で5分。小高い丘の上に農家民宿「観樂樓」がある。

日本の名工気仙大工が建てた築130年の古民家は、ケヤキの通し柱、十間(18m)もある梁、一枚板の鏡戸など、贅を尽くした屋敷である。

「山で木を切る。製材して建て。当時は、全ての作業が人力で、近所の人たちが総出で協力してくれた。完成まで数年もかかったと聞いている」と静雄さん。

風格ある古民家は、木造2階建て330平方m。周囲を山々に囲まれ、耳を澄ませば小鳥のさえずりも聞こえてくる。民宿に隣接する私設庭園「フラワーガーデン観樂樓」には、約8千本の花木が咲き誇る。晴れた日に、ここで食べる朝食は格別だ。

農家民宿の開業を決意

14年前、この地方を旅した東京の女性たちに、ボランティアで宿を提供した。広さ17・5畳の奥座敷に通された女性たちは「広い、天井が高い。殿様になった気分」と大喜びした。その前年、22年間勤めた会社

を退職し、退職金を活用して多くの仲間と出会う。さまざまな情報や知識を得ながら、農家民宿開業の夢をたぐり寄せた。

06年3月にはグリーンツーリズムを推進する団体「とーばんふうどくらぶ」(現在NPO法人)を設立。初代会長に就任し、地域資源を生かした地域活性化にも取り組み始めた。こうして07年4月、10年間の努力は実り、ついに営業許可を取得した。

「焦らず気長にやってきたのがよかった。農家民宿はグリーンツーリズム推進にも一役買う取り組み。将来は、仲間を増やして、団体の受け入れもできるようにすれば」と前を見る。

家族のようなもてなし

一関・両磐地方第1号の農家民宿は、古くから奥座敷に飾ってあった書にちなみ「観樂樓」と名付けられた。07年5月の開業以来、県内外から多くの人が訪れている。

囲炉裏を囲んでの夕食は話も弾む。メニューはすいとん、古代米ご飯、山菜のてんぷらなど10品以上。近所に住む静雄さんの姉千葉泰子さんの手作山菜採りや農業体験など、

社が廃業。本業の傍ら営んでいた農業だけでは食べていけないという思いの中、都会の人たちの喜ぶ姿を見て、農家民宿の開業を決意した。

早速一関保健所に相談した。しかし、食品衛生法、消防法や建築基準法などさまざまな基準を満たさなければ開業できない現実を突きつけられた。

当時、一関・両磐地方には、静雄さんと同じように農家民宿を目指す人たちがいた。だが、なかなか下りない許可を待ちきれず、いずれも途中で断念した。静雄さんはたった一人で挑戦を続けた。

10年かけて夢を実現

農家民宿開業に向けた思いは日増しに強くなる。

静雄さんは、講習会に参加したり、インターネットで情報を集めたりして知識を深めた。同時に、客室に火災報知器を取り付けたり、客用の洗面所や厨房を設置したりして少しずつ増改築を進めた。

県や町の観光担当者のもとにも何度か足を運び、こうした取り組みをサポートしてくれる関係機関や団体を紹介してもらった。

田舎を丸ごと体感できるメニューも充実。さらに、古民家を舞台にコンサートなども開いている。

豊かな自然も、美しい農村風景も、旬の食材を使った田舎料理も、温かいもてなしも、全て普段着のまま、それが藤沢の日常だ。

ここには、一流ホテルや高級旅館のような都会的サービスはない。だが、訪れた誰もが心から思う。「ここにきてよかった」と。「観樂樓」に代表されるように、一関市には人をもてなす心がある。

MAP ほっとできる癒やしの宿、懐かしの故郷の宿

農家民宿 観樂樓
 ☎029-3405
 岩手県一関市藤沢町藤沢字馬ノ舟82
 ☎FAX: 0191-63-2009
 ✉: sato2009@ruby.ocn.ne.jp
 ●開業: 2007年5月
 ●定員: 8人
 ●料金: 1泊2食¥6,500、1泊朝食付き¥5,000、1泊食事なし¥4,000
 ●http://www17.ocn.ne.jp/kanraku/

「あんちゃんのだぶろく」は、さわやかな酸味とクリーンでやさしい口当たりが特徴。ぐいっと飲めば、体の隅々まで染み渡るようにうまい。

「水、米、酵母、藤沢ならではの気候、風土などにこだわり、ここでしか造れないどぶろくを目指したい」と静雄さん。自身が経営する「観楽樓」で宿泊客に振る舞うほか、藤沢町の「ペンション・グリーンボーデン館ヶ森」や「館ヶ森高原ホテル」、千厩町の「レストランClads」(クラデス)や「スナックエルシド」でも提供する。

さらに、夏の風物詩藤沢野焼祭で振る舞い、「祭りを盛り上げたい」とも。

グリーンツーリズムを推進

田舎の自然、食、文化、歴史などは、いずれも長い年月をかけてつくられてきた。都市と農村の交流「グリーンツーリズム」のだいご味は、本物の田舎暮らしを丸ごと体験できることだ。グリーンツーリズムは、長期バカンスを楽しむ人が多いヨーロッパで普及した旅のスタイル。「農山漁村で農林漁業を体験したり、その土地の自然、文

化に触れたりしながら、地元の人々と交流する旅」だ。

都会の喧嘩から離れ、自然豊かな田舎で過ごすことは、心身の癒やしにもつながり、日本でも「新しい旅のカタチ」として関心を集めている。

ホストの田舎が準備するのは「普段着のおもてなし」。訪れた人を客としてではなく、家族のように迎える、それがグリーンツーリズムの流儀だ。

観楽樓のおもてなし

周囲を緑に囲まれた「観楽樓」は、都会では体感できない癒やしの宝庫だ。

黒光りする床にとつかりと腰を下ろし、囲炉裏を囲んで一杯やれば、もうそこから動きたくなくなる。地の食材をふんだんに使ったボリューム満点の旬の料理に箸を伸ばせば、身も心もとことん癒やされる。

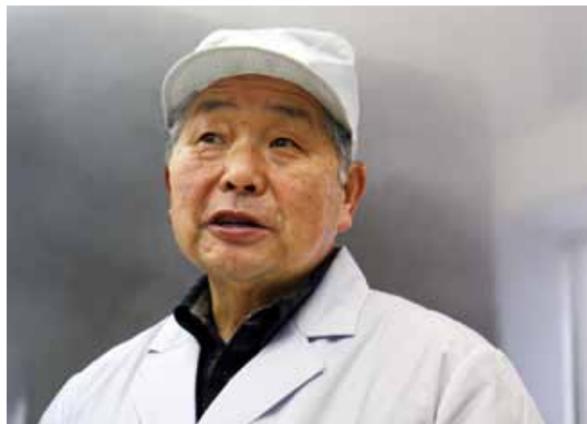
心から喜ばれる「おもてなし」とは、豊かな時間をどれだけ持つことができるか、ではないだろうか。最上の空間より、むしろ「最上の時間」が重要だと思われる。

静雄さんは「観楽樓を利用する人は、ほのぼのとした時間を求めてやって来る。家庭的な団らんや普段着の田舎暮らし

最上

「日常」を「最上に」都市と農村の交流を推進

真新しい酒工房で、初仕込みを終えた静雄さん。目指すは、どぶろくを通じた地域振興。古里の大地で、グリーンツーリズムを推進することだ。



を望んでいる。だから『いらつしやい』より『お帰りなさい』が、ここでは最上のおもてなし」にとり。

さらに、「作物を育てたり、山菜を採ったりすることで、観光旅行では得られない地域への愛着が生まれるようだ。『第二の古里です』って言ってくれるリピーターも少なくないですよ」と自信をのぞかせる。

地域活性化の呼び水に

豊かな自然、美しい景観、清浄な水、澄んだ空気、新鮮な食

材など、私たちが日常見ているもの、触れているもの、食べているものは、それ自体田舎の魅力として評価を受けている。地元の米と水で造るとぶろくもその一つ。地域によつて味わいに違いの出る酒は、言い換えれば、最も独自性を打ち出せるテーマ。グリーンツーリズムとも縁が深い。

自身が理事長を務めるNPO法人「とーばんふうどくらぶ」はグリーンツーリズムの推進組織。地域資源を生かした地域活性化にさまざまな角度からアプローチしている。

04年にどぶろく特区に認定された宮崎県三股町は、特区認定を機に、農業とグリーンツーリズムを融合した独自の「どぶろくツーリズム」を展開する先進地。焼酎「黒霧島」を世に出した酒造りの達人桑畑雅博さんの協力で完成したどぶろく「百姓の微笑み」を軸に、「どぶろくジェラート」や「どぶろく大福」などさまざまな商品を開発・販売しながら、グリーンツーリズムを推進する。

静雄さんは「どぶろくを地域活性化の呼び水にしたい。生産が軌道に乗ったら、どぶろくを使った加工品にも挑戦したい」と早くも次のステージを視野に入れる。

宮崎県三股町

Mimata Town

文写真 三股町地域政策室 新原正人



先進地に学ぶ 特区の可能性

農工商が連携して、地域資源のどぶろくを共有



1 に大きな期待が寄せられた。

三股町は04年12月、当時、九州初の「どぶろく特区」に認定された。日本最南端の特区で、観光や物流など町の活性化

具体的には、温暖な気候と豊かな自然を生かした農業に加え、陶芸や乗馬などを体験できる「体験型グリーンツーリズム」を推進。そこに、これぞ町の特産品というどぶろくを組み合わせて「三股町独自のグリーンツーリズム」を展開していかうというものだ。

05年、一軒の農家がどぶろくづくりを始め、経営する農家レストランで提供した。どぶろくに合う料理の食材は全て町内産を使用。地産地消のPRも合わせて行つた。さらに、農家のメリットを生

1_どぶろく「百姓の微笑み」。『黒霧島』を世に出した酒造りのスペシャリスト桑畑雅博さん(三股町在住)の全面協力であげられた。2,3_三股町のどぶろく製造農家第1号の木下行春さん家族。家族で農家レストラン『百姓屋』、宿泊施設を運営。「一粒の種を百粒に増やし、百人を幸せにできるから百姓」と誇りを持つ。4_ホワイトチョコとどぶろくの相性が抜群の「どぶろく大福」はおみやげ人気ナンバーワン。5_どぶろくのはのかな香りとなめらかな食感が人気の「どぶろくジェラート」



ティセールスは難しい。商工会が開発したどぶろくを使った特産品も定着するまでには、もう少し時間が必要だ。そもそも特産品は、長い年月をかけて愛されてきた。当地グルメやご当地グッズであり、まち全体で育てていかなければならない。そのためにも、どぶろく製造農家や商工会だけでなく、町民がどれだけ自分のまちを知っているか、どれだけ自分のまちに興味があるか、どれだけ自分のまちを愛しているか、そこに町全体が目を向けなければ、地場産品を特産品へ進化させることは難しい。

「どぶろくのみち」をシテイセールスするために、▼新規どぶろく製造農家の発掘▼グリーンツーリズムを担う人の育成と提供する場所の創出▼町民のふるさとへの愛情の醸成は欠かせない。これらが、連携してこそ三股町の観光と物流の活性化につながる。

特区認定から8年、ようやく2軒目のどぶろく製造農家が誕生しようとしている。彼らと地域が、町民が、どのようにかわっていくのか。日本最南端のどぶろく特区の未来はそこにある。



三股町は宮崎県の南西部、都市の東隣にある。面積110.01平方キロ、人口2万5千人。町土の約70%が山林で、自然と共生する農畜産業が主産業。「花と緑と水のまち」をキャッチフレーズに、住みよい・豊かな田園工業都市を目指している。

吟で褒



どぶろく造りは古里づくり 夢を紡ぎ、誇りを醸す

フラワーガーデン、農家民宿、そしてどぶろくと、古里の資源を生かし、時間をかけて夢を実現してきた静雄さん。吟醸とは、吟味した原料を用い、丁寧に醸造すること。人情にあふれる彼の人生そのものである。

笑顔と幸せは連鎖する

「みんなの喜ぶ顔が見たい」。静雄さんの元気の源だ。相手の喜ぶ顔を見ると自分までうれしくなってしまうと笑う。「ありがとう」と言われると、それだけで幸せな気持ちになれると瞳を輝かせる。笑顔と幸せは伝染するものなのだ。

友人の藤澤誠さん(72)は藤沢町徳田は静雄さんを「普段は純粹で温厚。でも、これが仕事になると人一倍努力する人。そして、絶対に

夢をあきらめない人」と言い切る。「だから(静雄さんを)好きなんだ」とも。夢や目標に向かって努力を重ねる人は、いくつになっても輝いている。

結果より過程を楽しむ

「農家民宿の開業には10年かかった。フラワーガーデンには40年、人生の半分以上を費やした。成功するかしないかわからない中で続けてこれたのは、結果より夢に向かって努力するプロセス

を楽しんでこられたから」。静雄さんの生き方だ。

種をまいて、芽が出る。芽が出て育つて花が咲く。「その過程を楽しむことができる」と、結果も変わってくる」ときっぱり。

つまり、成功をイメージすると自信が持てる。自信が持てるようになると心理的にリラックスできる。リラックスできると楽しくポジティブに取り組める。楽しくポジティブに取り組むとわくわく感が生まれ、ますますやる気になる。ますますやる気になるから良い方向に事が進む。だから静雄さんの挑戦は成功する、というわけだ。

どぶろくにかける夢

どぶろく造りは目的ではない。地域活性化の手段だ。フラワーガーデンや農家民宿同様に、グリーンツーリズムを推進するためのツールなのである。手が掛かる分、量はできない。だが、仕込みが小さいからこそ、思いを込めることができる。愛情を注ぎ込むことができる。

「あんちゃんのだぶろく」には、まっすぐな静雄さんの

静雄さんのどぶろく造りを指導した

中山繁喜さん

独立行政法人岩手県工業技術センター
食品醸造技術部 上席専門研究員



Nakayama Shigeaki

酒屋と違って小さな仕込みだから管理が大変。仕込みや発酵中の温度管理が重要で、微妙な違いでも味や風味は変わってきます。静雄さんは真面目で行動力があるので、経験を積みばきっと大丈夫。情熱と使命感で必ず成功すると思います。飲みやすい親しまれるどぶろくを期待しています。

静雄さんのどぶろくを提供する

菊地代志子さん

レストラン Clades店長
60歳 千厩町千厩



Kikuchi Yoko

ふんどくらぶの会合などで店を利用してもらっています。純粋な静雄さんは少年のような心の持ち主。いつも夢を持ち、実現させてきた生き方に共感しています。お客さんも「あんちゃんのだぶろく」が出るのを首を長くして待っています。静雄さんが造ったものだから自信を持って提供できます。

静雄さんのどぶろくを提供する

古川 孝さん

スナックエルシンド店主
60歳 千厩町奥玉



Furukawa Takashi

2006年の開店以来、お付き合いしています。静雄さんはいつも挑戦している人で、夢を語っている時が一番生き生きしています。謙虚で前向きな人柄が好きで、ぜひ協力(店で提供)したいと思いました。人情あふれる温かい静雄さんが造ったどぶろくです。地元の酒として多くの人に飲んでほしいです。

静雄さんのどぶろくをこよなく愛する

藤澤 誠さん

静雄さんの友人
72歳 藤沢町徳田



Fujisawa Makoto

移住者の私を温かく迎えてくれた静雄さん。10年以上の付き合いです。彼は常に正直で謙虚、そして努力家です。人情にあふれる静雄さんが愛情を注ぎ込んで造ったどぶろくだから絶対にうまいはず。グリーンツーリズム推進のためにも頑張っています。販売が始まったら一番に買いに行きます。

思いと深い愛情がろ過されずに凝縮されている。白色は静雄さんの心。豊かな風味とまろやかな口当たりは静雄さんの人柄。深みと味わいは静雄さんの人生だ。「自分で造った酒で訪れる人をもてなしたい。『うまい』と言ってもらえたらうれしい。囲炉裏を囲むどぶろくの輪が広がってコミュニティが生まれ、グリーンツーリズムを動かす力になれば言うことないね」出来たての四合瓶を手に笑った。

【店主に聞く】 Interview

農家民宿「観楽楼」店主

佐藤静雄さん

Sato Shizuo



みんなが喜ぶどぶろくを造って 笑顔が広がるグリーンツーリズムを進めたい

農家民宿は苦節10年の挑戦。どぶろく造りは、民宿開業前から描いていた長年の夢。特区制度ができた時から少しずつ準備を重ねてきた。

農家民宿の開業に向けては、食品衛生法、消防法、水質汚濁防止法、土地計画法など、とにかくハードルが多かった。それに比べると今回は順調だったと思う。

何より、まず特区にならないことには始まらない。当時、一関市との合併に向けて一番忙しかった時期にもかかわらず、私の話を聞いて、さまざまな手続きなどをしてくれた役場(藤沢支所)の皆さんに感謝したい。

「あんちゃんのだぶろく」のラベル製作には、大勢の人たちが関わっている。その一人から「どぶろくの『く』の字が『人]に見える」と言われた。後ろの輪は観楽楼の囲炉裏。「囲炉裏を囲む人の輪が、外へ外へと広がってほしい」、そんな願いを込めた。題字や似顔絵など、協力してくれた皆さんにも感謝している。

これまで私は、何をすることも人の交流を一番大事にしてきた。震災後は、藤沢や千厩の雇用促進住宅に避難してきた人たちとも交流している。皆さんに「ここに来てよかった」と言ってもらえたことがうれしかった。震災は憎いが、出会いには感謝している。これから

交流する機会があるたびに、藤沢の米と水で造った藤沢産のどぶろくを飲ませてあげたい。

食の交流は文化の交流。どぶろくが交流の橋渡しをできるようになればうれしい。一関には、自慢できる特産品がたくさんある。その中に「あんちゃんのだぶろく」も加えてもらえるよう頑張りたい。

座右の銘は「有言実行」。誰かに言えば、やらなきゃいけない。自分にプレッシャーをかけることで頑張るエネルギーを生み出している。今回も大いに夢を語った。中には「県内初じゃないからメリットがないのでは」という意見もあった。だが、メリットは自ら努力してつくり出すものだ。誰かの後を追うわけではない。

個性を重視するどぶろくには、大きな可能性を感じている。夢を実現するためには、挑戦し続けることが大事だ。「したい、なりたい」から「する、なる」へ意識を変えることが一歩踏み出す勇気につながる。迷ったり、つまづいたりしても、あきらめないこと。あきらめない限り、夢が逃げることはない。前進する気持ちがあれば、きっと道は開ける。道が開けば、必ず夢は実現できる。みんなに愛されるどぶろくを造って、みんなの笑顔が広がるグリーンツーリズムを進めたい。

Profile 1943年藤沢町生まれ。農家民宿「観楽楼」店主。99年町議初当選、合併まで3期、町民の目線から町政に関わった。04年6月藤沢町まち・むら交流協議会副会長。06年3月「とーばんふうどくらぶ」会長。舞踊、三味線、陶芸など多趣味。一関市藤沢町在住。68歳。

あなたの元気の秘けつは何ですか
明治44年から45年にかけて生まれた6人
百年の時から学んだ豊富な知恵は古里の財産です

千葉ナツさん 一関市舞川

眼鏡なしで
器用に針穴に糸を通す



12月15日、子供らに囲まれながら自宅で誕生日を迎えました。ナツさんは平泉町長島の出身。20歳で結婚し、子6人、孫6人、ひ孫3人がいます。

ナツさんの趣味は裁縫。眼鏡を使わず、器用に針穴に糸を通し、綿入れ座布団などを作ります。肉や生ものが苦手、野菜をよく食べているナツさん。約40年前から毎日、乳酸飲料と栄養ドリンクを飲み続けています。

高橋孝子さん 室根町折壁

働くことが好きで
負けず嫌い



12月19日、入所する介護老人保健施設で誕生日を迎えました。孝子さんは千厩町小梨出身。19歳で結婚し、子5人、孫10人、ひ孫12人がいます。

孝子さんは、働くのが好きで、負けず嫌い。畑仕事や庭の草取りをして働き、孫の面倒をよく見ていたそう。キリスト教を信仰し、イギリスやイタリアなどの海外に行ったことがある孝子さん。枕元に聖書を置いて読んでいました。

菅原キクヨさん 一関市東五代

新聞や週刊誌を読む
楽しみはデイサービス



12月20日、自宅で誕生日を迎えました。キクヨさんは陸前高田市出身。8月に本市に越してきました。26歳で結婚し、子5人、孫9人、ひ孫4人がいます。

耳は遠くなったけど、口と目は丈夫。何でも食べ、「70代の頃よりよく見えます」と、新聞や週刊誌を読みます。デイサービスへ週2回通っているキクヨさん。塗り絵、間違い探しや体操などをして遊べることを楽しみにしています。

清水ツ子コさん 一関市宮坂町

何でも食べる
日課は日記を付けること



12月22日、親類に囲まれながら自宅で誕生日を迎えました。看護師・助産師として働き、21歳で結婚。子4人、孫9人、ひ孫12人がいます。

民生児童委員を21年間務め、昭和54年には厚生大臣表彰を受賞しました。ツ子コさんの日課は日記を付けること。長寿の秘けつは好き嫌がなく何でも食べることです。美空ひばりが特に好きでテレビの歌番組をよく見ます。楽しみにしていることは、ひ孫が遊びに来ることです。

小野寺せつさん 花泉町日形

体を動かして働くことが
健康の基



1月1日に誕生日を迎えたせつさん。17歳で結婚し、子7人、孫11人、ひ孫が8人います。

誕生日前の12月28日、記念品贈呈式が入所する介護老人保健施設で行われました。「体を動かして働くことが健康の基」と話したせつさん。稲作をしたほか、みそや納豆を作り、周囲へおすそ分けをして喜ばれていたそう。得意なことは裁縫。子供の結婚時には紋付きを自分で縫い、持たせてあげました。

鈴木マサエさん 大東町大原

裁縫が得意
器用な手先で何でも縫う



1月2日、100歳の誕生日を迎えました。マサエさんは、22歳で結婚、子7人、孫10人、ひ孫6人がいます。働き者で、気丈な性格。裁縫が得意で、着物やどんぶくなど何でも縫います。

親族が集まった12日、自宅で記念品贈呈式が行われました。100歳を迎えて「ほがらかな気持ち」と話すマサエさん。いすにシャンと腰かけ、自ら縫った着物を身にまといました。長生きの秘けつは自分で作った野菜を食べることです。

共同募金運動で厚労大臣表彰

COMMENTATION

皆川榮司さん 藤沢町藤沢

仕事も公職も地域に密着
古里に尽力した28年



藤沢町藤沢字裏の皆川榮司さん(79)は共同募金運動奉仕功労者として厚生労働大臣表彰を受けました。榮司さんは宮城県登米市の出身。15歳で気仙沼市内の写真店に弟子入り後、叔父が経営する南三陸町の写真店で腕を磨き、56年、現在の場所に皆川写真館を開きました。「自分は養子だったが、地元の人々が快く受け入れてくれてうれしかった」と当時を振り返ります。温厚で誠実な榮司さん。地域に推さ

れ、83年から11年3月までの28年間、藤沢第4区の行政区長として活躍。地域のために尽力する中で、共同募金運動の推進に率先して取り組んできたことが評価されました。「藤沢4区は面積が狭くて住宅が密集しているから各戸を回るのが楽だった。皆さん協力的で苦勞もなかった」と控えめな榮司さん。「受賞は地域の協力があってこそ。皆さんのおかげです」と感謝していました。

Profile Minakawa Eishi
1933年宮城県登米市生まれ。56年、現在の場所に「皆川写真館」をオープン。83～2011年3月まで藤沢地域第4区行政区長。妻、長男と3人暮らし。藤沢町藤沢字町裏在住。79歳。





1

雪原でかんじき体験とかまくら作り
一関・本寺古曲田家で「もちつき体験と雪遊び」

「もちつき体験と雪遊び」は1月7日、巖美町本寺の骨寺村荘園休憩所「古曲田家」で開かれ、市内の親子など約30人が元気いっぱい交流しました。

休憩所前の雪原では「かんじき体験」や「かまくら作り」が行われ、子供たちは大はしゃぎ。幸町から参加した千葉遥葵ちゃん(3つ)は初めて履くかんじきに「慣れないから歩きづらい」と悪戦苦闘。母親の美恵子さんは「市街地ではなかなか雪遊びできないので参加してよかった」とはしゃぐわが子に目を細めていました。

2

地の食材使った熱々の鍋を楽しむ
花泉・油島公民館で「料理教室」

油島公民館主催の料理教室「旬を楽しむ会」は1月11日、同公民館で行われ、15人の参加者が旬の鍋料理に腕を振りました。

同教室は地元の食材で郷土料理や旬の料理を作って味わおうと毎月1回開かれています。この日のレシピは、寒い季節にぴったりの「牛もつ鍋」と「豚肉のみぞれ鍋」。講師の後藤定幸さん(63)＝花泉町油島＝は「男性も料理できるようになりましょう」と丁寧に指導。参加した男性は「家でも台所に立っています。今日も帰ったら実践します」と手際よく調理していました。



3

小学生がかまばた織りを体験
大東・興田公民館で「かまばた教室」

小学生を対象にした学びの土曜塾「古い布でかまばた教室」は1月6日、興田公民館で開かれ、児童が手織りに挑戦しました。

古くから地域に伝わるかまばた織りは、古布を裂いて編み出し、再生した織物。大東町内のグループ「かまばたの会」の6人が、伝統の技を児童に伝えました。昨年に続いて参加した興田小2年の伊東七海さんは「手織り機でコースターを作りました。足で踏み換えながら織るのが楽しかったです」とにっこり。世界に一つの作品に満足そうでした。

4

勝利目指し、チーム一丸でボール追う
千厩で「一関東地区小学生バレーボール大会」

小学生の競技人口の増加などを目的とした「一関東地区小学生バレーボール大会」は1月15日、千厩体育館で行われました。

15回目の同大会には、旧東磐井地域の小学校から男子4チーム、女子5チームが参加。選手たちは互いに声を掛け合いながらサーブ、レシーブ、アタックとボールを追っていました。

男子の部で優勝した奥玉小主将の千葉隼也君(6年)は「みんなと一生懸命プレーして優勝できてよかった」と笑顔で話していました。女子の部は興田小が堂々4連覇しました。



5

寒さ吹き飛ばす熱戦に歓声
東山総合体育館で「親子卓球大会」

35回目の「東山親子卓球大会」は1月8日、東山総合体育館で行われ、寒さを吹き飛ばす熱戦に会場が沸きました。

冬休みの恒例行事としてすっかり定着した同大会には、子供会ごとに編成した20チーム約200人がエントリー。親子ダブルス、小学生男女シングルス、父親シングルス、母親シングルの団体戦で競いました。松川小2年の唯花さんと参加した細川学さん(35)は「寒い中での大会ですが、和気あいあいと楽しみました」と息を弾ませていました。

6

まゆ玉ならしで親子が交流
室根・上折壁児童館で「小正月行事」

上折壁児童館で1月14日、「小正月行事」が行われ、地域の親子ら30人がまゆ玉ならしやジャンボカルタを楽しみました。

小正月行事は家庭教育学級の一環。エプロン姿の子供たちは、赤、青、黄など色とりどりのまゆ玉を一生懸命作りました。出来上がったまゆ玉はミズキの木に飾り付けました。矢越字七日市の岩淵良太君(4つ)は「こねたり、飾り付けたりするのが楽しかった」とはにかみ、母親の恵子さんは「地域に伝わる小正月行事を体験できてよかったです」と笑顔を見せていました。



7

きねを使ってぺったんぺったん
川崎保育園で「餅つき会」

川崎保育園の「餅つき会」は1月13日、同園で行われました。餅をついたのは、今春小学生になるひまわり組の園児19人。「よいしょ、よいしょ」の掛け声に合わせて順番にきねでつきました。ぺったんぺったんと音がするたびに、園児たちは大喜び。園庭には元気な声が響き渡りました。

同組の伊藤涼花ちゃん(6つ)は「餅つきは初めて。とても楽しかったです」とにっこり。ついた餅はきなこでおいしくいただきました。



8

6団体が伝承活動の成果を披露
藤沢・縄文ホールで「子ども郷土芸能発表会」

「第30回藤沢町子ども郷土芸能発表会」は1月8日、「縄文ホール」で開かれ、130人の児童が伝承活動の成果を発表しました。

出演団体は▶本郷神楽保存会▶黄海源大鶏舞継承会▶増沢神楽保存会▶徳田田植え踊り保存会▶藤沢ばやし保存会▶下大籠南部神楽保存会一の6団体。躍動感あふれる舞や息のあった演奏に、会場から盛んな拍手が送られていました。この舞台をJスタッフと共に支えたのは3人のJキッズ。照明や場内アナウンスなどを担当し、裏方として友達の晴れ舞台を支えました。



一関
花泉
大東
千厩

東山
室根
川崎
藤沢

図書館だより

Book Review

「鬼といりまめ」

谷真介・文 赤坂三好・絵
日照りつづきの村に雨をふらせる
ほうびに、鬼はかわいいお嫁さん
がほしいといい…。節分の由来と
して伊豆地方に伝わる民話をもと
にした、ほがらかな魅力のある絵
本です。



「ザシキボッコの風」

及川和男・作
風の吹く日にやってくる、子
どもが大好きなザシキボッコたち。
皆に幸せを呼び込もうと一生懸
命風を吹かせます。岩手日報連
載を書籍にした、心温まる現代
のファンタジー。



「干し野菜をはじめよう 太陽の香りがするレシピ100」

廣田有希・著
冬の乾燥した空気は干し野菜づく
りにぴったり。干し野菜の手軽な
作り方と、旨味をいかしたレシピ
100点が掲載されています。干し野
菜に初めて挑戦する人におすすめ。



「EVOLUTION 骨からみる生物の進化」

ジャン＝バティスト・バナフィュー・著
蛇の細かな肋骨、タツノオトシ
ゴの全身骨のような骨。思わず
CGと間違えてしまうほど精妙
な、実物骨格標本写真の数々が
収められています。進化生物学
の教科書としても。



オススメイベント

企画展「いわての食卓～保存食のススメ～」

◇期間…1月28日(土)～2月23日(日)

◇会場…一関図書館エントランスホール

「室根町読書感想画展」

◇期間…2月6日(土)～19日(日)※(土)(日)を除く。19日だけ午前中

◇会場…室根支所エントランスホール

「室根町読書のつどい」

◇日時…2月19日(日)10:00～12:00

◇会場…曲ろくふれあいセンター

▶一関図書館 ☎2147 ▶花泉図書館 ☎4939

▶大東図書館 ☎3541 ▶千厩図書館 ☎1122

▶東山図書館 ☎2243 ▶室根図書館 ☎3820

▶川崎図書館 ☎4123 ▶藤沢図書館 ☎5088

▶市立図書館ホームページURL <http://www.library.city.ichinoseki.iwate.jp/top.html> (休館日の情報などもこちらから)

Huray huray Club! ふれーふれークラブ



藤沢中学校女子バレーボール部

私たち、藤沢中学校女子バレーボール部は、
2年生10人、1年生2人で活動しています。

新人戦では、地区5位通過で県大会に出場する
ことができました。しかし、1回戦敗退という不
本意な結果に終わりとともに悔しい思いをしました。
弱点を知り、レベルの低さを痛感した現在は、目
標を中総体に切り替え、日々練習に励んでいます。

活動目標の「BigVoice BigSmile BigHeart BigPlay」
は、先輩から託された思いでもあります。

チーム一丸となり、持ち前の根性と明るさで
県大会の切符を必ず手に入れ、上位入賞を目指
し頑張ります。

文・部長 佐藤春翔さん(2年)

My favorite Pets うちの自慢!

ホタテ(雑種のメス 左)
まさお(雑種のオス 右)



仲良しな二匹!! いつも一緒にいますV(^-^)

鈴木優子さん方(一関)

かわいいペット大募集!

①写真(デジカメ画像可) ②名前 ③種類とメスオス ④応募者の住所・氏名・電話番号 ⑤30字程度のコメントを明記して市役所市政情報課(メールアドレス shisei jyoho@city.y.ichinoseki.iwate.jp)まで。

笑顔で GOOD!



地元に残り、広がる人の輪
熊谷和也さん(花泉) 23歳

高校卒業後、市内の電気
部品製造会社で働いていま
す。入社の日々からは、高
校の職場体験。「優しい先
輩たちに囲まれて楽しく働
いています」と笑顔を見せ
ます。

「花泉に残ってよかつ
た」と話す和也さん。これ
まで付き合いのなかった地
元の先輩らと共に働くこと
で人の輪が広がり、古里の
良さを実感しています。

とはスペイン旅行とか。
「まだ幼い部分がある自
分。冷静にきちんと考えら
れる男になりたい」と自分
を見つめています。「新し
いお店も増えてきた一関。
みんな楽しんでる場所があ
るといいですね」と語って
くれました。

熊谷勇之介ちゃん(一関)
22年4月14日生まれ
パパ啓之さん・ママ美奈子さん
いつもここにこゆうちゃん、
これからもすくすく育って
ね!



佐藤遙斗ちゃん(一関)
22年5月12日生まれ
パパ真哉さん・ママ郁子さん
「じー・びっぴー・おかえり
〜!」と得意気にお話するよ
うになり、アンパンマンが大好
きなハル君です。笑顔最高!!



千葉奏実ちゃん(一関)
20年9月21日生まれ
依愛ちゃん(左)
23年8月16日生まれ
パパ貴宗さん・ママ美紗子さん
2人が生まれてくれてみんな
幸せだよ。姉妹仲良く元
気に育ってね。



及川寧久ちゃん(一関)
22年8月26日生まれ
パパ辰彦さん・ママ奈美さん
もう少しで歩けるようにな
るね♪でも、ちょっと心配
かな。



**Kid's Photo Studio
キッズ写真館**

小学校入学前の子供たちを募集!

①写真(最近撮影したもの・デジカメ画像も可) ②氏名(ふりがな) ③生年月日 ④住所 ⑤電話番号 ⑥父母氏名
⑦30字程度でお子さんへのメッセージを明記して市役所市政情報課 ☎021-8501(住所不要)または
shisei jyoho@city.ichinoseki.iwate.jp まで(毎月先着4組)

まっすぐにハタチ。

日本には、古来より元服や裳着といった成人を祝う儀式があった。身体、精神の発育が適当な状態になったと認められて初めて行われる通過儀礼。時は流れ、今日の成人式は、昭和21年埼玉県北足立郡蕨町（現蕨市）で行われた「青年祭」がルーツ。平成24年「一関市成人式」は1月8日。「大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ます」趣旨のもと、初めて8地域の成人者が一堂に会し、開かれた。



- ① 実行委員会制作の記念DVDを鑑賞する新成人
- ② 参加者全員で市民憲章を唱和
- ③ 再会を喜び記念撮影
- ④ 成人式企画実行委員らが企画、取材、編集したDVDを上映した記念行事
- ⑤ 新成人を代表して両親や恩師への感謝の気持ちと大人としての決意を述べた関菜摘さんと大人としての決意を述べた関菜摘さん
- ⑥ 記念品を受け取る菅原有輝(ゆうき)さん
- ⑦ 市民憲章の唱和を先導した畠山葉子さん
- ⑧ わが子の門出を一目見ようと詰めかけた大勢の父母ら

1372人が大人の第一歩

今年の新成人は、1991年4月2日から92年4月1日までに生まれた1372人で、そのうち120人が式に参加。スーツ姿の男性や色とりどりの衣装に身を包んだ女性で会場は華やかなムードに包まれた。再会を喜び談笑したり、記念写真を撮ったりする姿が見られた。

式で勝部修市長は「まちづくりには新しい発想、行動力が必要。皆さんが夢に向かって挑戦し続けることを願う」と式辞。新成人を代表して室根町出身の県職員関菜摘さんが「昨年の大震災で命や絆について深く考えさせられた。命に責任を持ち、言葉より行動で示していくことのできる成人になることを誓う」と決意を述べた。式に続いて、成人式企画実行委員会が企画した記念行事が行われ、震災からの復興や新成人としての一歩を踏み出そうと制作した「Restart!」がありがとう一関いままでもこれからも」と題したDVDを上映。これは新成人が市内各地を取材し、その映像をまとめたもので、参加者は映し出される懐かしい風景などに見入っていた。最後に成人式の歌「そんな気がするんだ」を全員で合唱し、大人としての一歩を踏み出した。

二十歳の思い
菊地裕子さん(千厩)



大学で化学を勉強しています。将来は研究職と考えています。自分たちの年代が東北に勇気と元気を与えられるよう盛り上げていきたいです。

二十歳の思い
佐々川あゆみさん(大東)



幼稚園教諭になろうと勉強しています。免許が取れるように頑張りたいです。これまで育ててくれた両親に感謝を忘れずにいたいですね。

二十歳の思い
吉田梓乃さん(花巻)



理容師になるため、専門学校で勉強しています。大人として責任のある行動を心掛けたいです。育ててくれた親に感謝しています。

二十歳の思い
小野幸也さん(一関)



設備関係の仕事をしています。実力をつけて仕事で成果を出したい。これまで育ててくれた親にありがとうと言いたいですね。

二十歳の思い
佐藤充弥さん(藤沢)



4月から地元で働くことに。仕事では全国に一関の良さを発信していきたいと思っています。親には苦労をかけたが、これからは支えていきたい。

二十歳の思い
金今 匠さん(川崎)



高校教師になろうと大学で勉強しています。社会的に責任を持って生活したい。親にはこれから頑張ってもらいたい。

二十歳の思い
加藤香奈さん(室根)



大人という意識を持って生活していきたいです。社会にも貢献できる大人になりたい。幸せな家庭を築くことが夢です。

二十歳の思い
菅原淳司さん(東山)



自宅から自動車部品製造会社に通勤しています。会社でまとめる役になりたい。迷惑をかけてきたが見守ってくれている親に感謝しています。

Restart! Desire 20 years



Profile さとう・しゅうへい
1991年一関市大東町生まれ
現在明治大学農学部2年
雄弁部、楽農4Hクラブに所属
陸前高田市や気仙沼市を中心に復興支援活動を展開
学生復興支援会を立ち上げ、代表を務める
東京都在住、20歳

突然の大地震

大学の春休み。花巻に住む知人宅を訪れていた時、今まで経験したことのない揺れに遭遇。その晩は知人宅に1泊した。知人は、県庁や市役所などから情報を得て、こう言った。「沿岸部が壊滅。何千人死んだか分からない」と。ふるさと岩手に何が起きたのか？ その言葉にすべてを悟った気がした。翌日、大東の自宅に何とか帰ることができた。

無我夢中で陸前高田市へ

テレビで放送される映像に、がくぜんとした。とても現実とは思えない。陸前高田は部活動の合宿をした思い出の地。気仙沼や大船渡も幼いころから慣れ親しんだ場所。まず隣町の自分たちが動かなければ、居ても立ってもいられなかった。自転車に支援物資を積んで大東支所へ向かった。1日に3往復した日も。同級生や知人と一緒に支援物資を集めることにした。ツイッターや口コミでどんどん物資が集まる。輸送の自動

Support 20 years 支えるハタチ。 佐藤 柁平さん

学んだ「つながること」の大切さ
古里一関のために働きたい

車を提供してくれた人もいる。とてもありがたかった。陸前高田、気仙沼へ物資を届ける日々。県外から来る応援隊の道案内や仲介もした。毎日通い続けた被災地に、記憶の中にある穏やかで美しい風景はなかった。大自然の前に、人間の無力さを痛感した。被災地の人の声一つ一つが、心に深く突き刺さってきた。

学生復興支援会を立ち上げる

「息の長い支援を。被災地に関わり続けてほしい」。震災直後、戸羽太陸前高田市長に言われた言葉だ。東京に戻っても被災地のことが気になって仕方なかった。

首都圏の大学に通う被災地や東北出身の学生を中心に「学生復興支援会」という支援団体を立ち上げた。東北出身者以外でも加入する人がいて、支援の輪は大きく広がっていった。学生に何ができるか分からなかったが、とにかく復興支援に関わり続けなければという一心で、取り組んだ。

9月、陸前高田、気仙沼でのボランティアに加え、支える内陸と復興を目指す沿岸の人、双方の視点から復興を考える「いわて復興支援シンポジウム」を開いた。震災は、人と人とのつながりの大切さを私に教えてくれた。

現在は、来年度のプロジェクトに向けた準備を始めている。

将来のこと

私は今、明治大学農学部で農業経済や地域活性化を学んでいる。将来は、古里の一関や岩手のために働きたいと考えている。そして、被災地の復興にも関わっていく中で、岩手の再生、そして、もっと魅力ある岩手を築きたい。「ふるさと」の未来は自分で創る」という志を忘れず、東京で勉学を続ける。

消防士を志した理由

小さい頃ぜんそくにかかった私の治療のため両親は、転職して古里に帰ってきた。空気の良い岩泉で暮らし、私のぜんそくは、いつしか治っていた。

小学生の頃、友人と連れだって見に行った消防のイベント。そこで繰り広げられる訓練の様子が目に焼きついた。その日から消防士が自分の憧れの職業になった。

好きなサッカーを続けるため、両親を説得して盛岡市立高校に進学。サッカーに明け暮れた一方、進路についても真剣に考え始めた。両親に相談もした。思い出したのは小さい頃に抱いた「消防士への憧れ」だった。高校3年。県高総体を最後に、サッカーを一時封印。全国高校サッカー選手権大会出場を目指して練習する皆を横目に、消防士になるための勉強を重ねた。

夢の実現へ

勉強のいかもあつてか、一関市消防本部に採用



Profile きした・こうすけ
1991年埼玉県上尾市生まれ
盛岡市立高校卒業後の平成22年4月、市消防本部採用
半年間の消防学校生活を経て現在、一関西消防署勤務
趣味はサッカー、釣り、スノーボード
料理に挑戦してみたいと笑顔を見せる
一関市在住、20歳

Save 20 years 救うハタチ。 木下 浩輔さん

厳しい訓練と培ったチームワーク
全ては「命を救う」ために

された。半年間の消防学校での訓練を修了し、一関西消防署に配属。ついに夢が現実となった。想像以上に多い事務をこなしながら、訓練を積み日々。重ねた訓練を生かし現場活動の成果につなげることにやりがいを感じている。休みには、好きなサッカーや釣りでリフレッシュしている。

大震災発生

休みでたまたま自宅にいたときに襲ってきた大きな揺れ。とっさに岩泉の実家に暮らす家族のことが頭に浮かんだ。何度電話してもつながらない。心配する気持ちを振り払って職場へ向かった。

消防士になって1年足らず。経験不足の自分に沿岸の被災地への出動命令はかららない。沿岸被災地に向かう先輩を見送って、市内での職務に夢中で従事した。

久々にとれた休み。帰省した私は、子供の頃通った沿岸部の道を走ってみた。見慣れた町がそっくりなくなっていた。家族の元気な姿に安堵したものの、地震と津波にあらためて恐怖を感じる帰省となった。

将来のこと

サッカーを通じて培ったチームワークを生かせる消防士という職業に就いた。まだ日は浅いが、普通の生活ではできない経験を日々積んでいる。1月8日、故郷岩泉で成人式に参加した。懐かしい同級生との再会。そこで物の見方が以前とは違っている自分に気付いた。旧友は皆、良くも悪くも今どきの若者だった。

夢は「地域の人たちに信頼される消防士」になること。月並みだが、そうなのだ。昨年から救助訓練に志願した。一分でも一秒でも早く人を助けるために。訓練は嘘をつかない。

ハタチの諸君へー。 「旅」ノススメ

よく人は「人生は旅に似ている」という。では「旅」とはなんだろう。郷土の偉人大槻文彦は「言海」で「家ヲ出デテ、遠キニ行キ、途中ニアルコト」と定義している。旅とは「途上にあること」だ、というのが。ここから、

「人生は旅に似ている」あるいは「旅は人生のようだ」という認識が生まれてくる。人生もまた「途上にあること」と定義されるものなのだ。

1月8日に行われた成人式で取材した中に「夢は特にな」と語る若者がいた。私はその話を聞いてとても残念だった。彼にどんな事情があるか知る由もないが「今が一番楽しい時ではないのか？自分の将来に、何の夢も希望もないとは『若さ』という特権を自ら放棄している」と思わずにはいられなかった。

正月に読んだ本に「旅をしないさい。どこに向かってもいいから旅に出なさい。世界は君や、あなたが思っているほど退屈なところではない」という一節があった。ここでい

う「旅」とはもちろん、単なる観光では決してない。遠くに行けばよいというものでもない。知らない土地を訪ね、その風土、食や人にめぐり会い自らを見つめ直す―これが「旅」である。

人間とは元来、旅をする生き物である。太古の昔、アフリカの高地で「人類」と呼ばれる生物が誕生し、二足歩行を始め、ユーラシア大陸を越え、ベーリング海峡を渡り、南アメリカに至る壮大な旅をしたことを考えれば、人が旅をすることは本能的なものであり、生きることそのものであると考えるべきだ。

「旅には何かあるのか」と問う人もあろう。それは旅に出なければ分からない。旅は、旅することで見えないものが大半であるのだから。

世の中は今、すぐに答えを求めたがる。本当に正しい答えなど誰にも分からない、実はどこにもないかもしれないのに、皆が答えを知りたいがる。自分の答えは、自ら見、聞き、経験しなければ見つけられないものなのだ。青春時代の視点は、年をとるにつれ失われてしまうものなのだ。旅に出よう。

第2特集「まっすぐにハタチ」完

本庁健康づくり課 ☎21-2160 花泉支所保健福祉課 ☎82-2216
 大東支所保健福祉課 ☎71-1211 千厩支所保健福祉課 ☎53-3952
 東山支所保健福祉課 ☎47-4530 室根支所保健福祉課 ☎64-3805
 川崎支所保健福祉課 ☎43-4022 藤沢支所保健福祉課 ☎63-5304

2月の小児・成人夜間救急当番医

日	区	医療機関	電話
1	西	及川内科胃腸科クリニック(鳴神)	31-3131
⑧	東	かわさきファミリークリニック(薄衣)	43-3770
2	西	一関中央クリニック(中央町)	21-1222
⑧	東	県立千厩病院(千厩)	53-2101
3	西	いとう脳神経内科(上坊)	21-8200
⑧	東	たかがね内科泌尿器科クリニック(千厩)	51-1377
6	西	小野寺内科循環器科(末広)	23-5600
⑧	東	室根診療所(折壁)	64-2127
7	西	かとうこどもクリニック(山目)	33-2211
⑧	東	千厩ひかりクリニック(千厩)	51-1156
8	西	佐藤胃腸科内科医院(山目町)	23-9678
⑧	東	かわさきファミリークリニック(薄衣)	43-3770
9	西	西城医院(舞川)	28-2393
⑧	東	県立千厩病院(千厩)	53-2101
10	西	木村消化器内科(三関)	21-1311
⑧	東	菊池内科医院(沖田)	74-2512
13	西	桂島医院(駅前)	21-8883
⑧	東	もりあい内科クリニック(千厩)	51-3322
14	西	中野内科循環器科クリニック(山目)	33-2311
⑧	東	本多医院(大原)	72-2133
15	西	さとう小児科医院(桜木町)	23-4020
⑧	東	かわさきファミリークリニック(薄衣)	43-3770
16	西	袋医院(花泉)	82-3316
⑧	東	県立千厩病院(千厩)	53-2101
17	西	誠信堂医院・小児科(涌津)	82-3434
⑧	東	谷藤内科医院(千厩)	51-3355
20	西	寺崎内科胃腸科医院(青葉)	23-6211
⑧	東	阿部医院(長坂)	47-3898
21	西	菅原内科循環器科医院(涌津)	82-5528
⑧	東	猿沢診療所(猿沢)	76-2020
22	西	氷室内科医院(青葉)	23-3185
⑧	東	かわさきファミリークリニック(薄衣)	43-3770
23	西	ひらいずみ内科クリニック(平泉)	34-1133
⑧	東	県立千厩病院(千厩)	53-2101
24	西	阿部内科クリニック(竹山町)	23-2918
⑧	東	吉田内科循環器科医院(大原)	71-2131
27	西	一関中央クリニック(中央町)	21-1222
⑧	東	菅野内科医院(摺沢)	75-2772
28	西	いとう脳神経内科(上坊)	21-8200
⑧	東	たかがね内科泌尿器科クリニック(千厩)	51-1377
29	西	及川内科胃腸科クリニック(鳴神)	31-3131
⑧	東	かわさきファミリークリニック(薄衣)	43-3770

*診療時間…18:00～20:00
 *当番医を電話で確認してからお出掛けください

夜間こども救急相談電話

子供の病気への対応や応急処置などを看護師に相談できる窓口です。受け付けは19:00～23:00(年中無休)。
 ☎☎019-605-9000または☎#8000

2月の乳幼児・4・5歳歯科健康診査

■一関・花泉地域 期日(対象)・受付時間…【3～4カ月児健診】23日⑧(23年10月1～13日生まれ)、24日⑧(14～31日生まれ)・12:45～13:00【9～10カ月児相談】23日⑧(23年4月1～16日生まれ)、24日⑧(17～30日生まれ)・8:45～9:00【1歳6カ月児健診】9日⑧(22年7月1～19日生まれ)、10日⑧(20～31日生まれ)・12:45～13:00【2歳6カ月児歯科健診】9日⑧(21年8月1～17日生まれ)、10日⑧(18～31日生まれ)・8:45～9:00【3歳児健診】2日⑧(20年8月1～15日生まれ)、3日⑧(16～31日生まれ)・12:45～13:00 会場…一関保健センター
 ■大東・東山地域 期日・会場…【3～4カ月児健診】15日⑧・東山保健センター【9～10カ月児相談】28日⑧・大東保健センター【1歳6カ月児健診】8日⑧・東山保健センター【2歳6カ月児歯科健診】28日⑧・大東保健センター【3歳児健診】21日⑧・大東保健センター 受付時間…13:00～13:15(9～10カ月児相談は9:00～9:15)
 ■千厩・室根・川崎地域 期日・受付時間…【3～4カ月児健診】15日⑧・12:30～12:45【9～10カ月児相談】21日⑧・9:00～9:15【1歳6カ月児健診】23日⑧・12:30～12:45【2歳6カ月児歯科健診】21日⑧・13:00～13:15【3歳児健診】22日⑧・12:30～12:45 会

場…千厩保健センター(3～4カ月児健診は川崎防災センター)

■4・5歳歯科健診 18・19年8月生まれの人は契約歯科医療機関で受診してください。

■藤沢地域 期日…【3～4カ月児健診】15日⑧【7・10・12カ月児健診】9日⑧【1歳6カ月児健診】8日⑧【2歳6カ月児歯科健診】22日⑧ 受付時間・会場…13:00～・藤沢保健センター(3～4カ月児健診は12:45～13:00・川崎防災センター)
 ●本庁健康づくり課または各支所保健福祉課

成人検診の申し込みはお早めに

24年度成人検診の申込調査書の提出をお願いします。調査書は地区の保健推進委員などが届けます。



検診を申し込まない人も理由を記入し、必ず提出してください(12月27日以降に転入した人には2月上旬に申込調査書を郵送します)。

■提出期限…2月8日⑧まで
 ■提出方法…返信用封筒により郵送または本庁健康づくり課(一関保健センター内)・各支所保健福祉課、近くの保健推進委員へ提出してください
 ●本庁健康づくり課または各支所保健福祉課

市民のこころの健康相談窓口

臨床心理士が相談に応じます。事前に申し込んでください。相談は無料です。
 ■日時・会場…①6日⑧10:00～11:00・一関保健センター②13日⑧13:30～

14:30大東保健センター③27日⑧10:00～11:00千厩支所保健福祉課④27日⑧13:30～14:30室根支所保健福祉課
 ●①本庁健康づくり課②大東支所保健福祉課③千厩支所保健福祉課④室根支所保健福祉課

ハローワークにおける対面相談 ところの健康&お金の安心相談

こころ、お金の悩みに一人で悩まず、相談してください。
 ■日時・会場…2月14日⑧・一関公共職業安定所(ハローワーク一関)
 ●一関保健所保健課☎26-1415

2月の健康相談・健康教室

＜一関地域＞
 ■健康相談 日時・会場…【一関】21日⑧13:30～15:00・八幡町地区防災拠点施設【山目】2日⑧9:30～11:30・清水公民館【中里】7日⑧10:00～12:00・中里公民館【舞川】28日⑧10:00～11:30・9区公民館【弥栄】▶13日⑧10:00～11:30・日向公民館▶15日⑧10:00～11:30・鶴巻集会所
 ■栄養相談 日時・会場…13日⑧、27日⑧9:00～16:00・一関保健センター
 ●健康づくり課☎21-2160
 ■玄米ニギニギ体操 日時・会場…▶8日⑧13:30～・関が丘コミュニティセンター▶24日⑧13:30～・山目公民館
 ●食改(熊谷)☎23-1310

＜花泉地域＞

■ふれあい会 日時…▶6日⑧10:00～12:00▶20日⑧10:00～14:00
 ■玄米ニギニギ体操 日時…13日⑧10:00～11:15

■共通事項 会場…花泉支所
 ●花泉支所保健福祉課☎82-2216

＜大東地域＞

■デイクア 日時・会場…17日⑧9:30～14:00・大東保健センター
 ●大東支所保健福祉課☎71-1211

＜千厩地域＞

■デイクア 日時・会場…10日⑧9:30～町外研修
 ●千厩支所保健福祉課☎53-3952

＜東山地域＞

■骨コツ！筋筋教室 日時…10日⑧、24日⑧13:30～15:30
 ■やまゆりの会 日時…17日⑧10:00～14:00
 ■共通事項 会場…東山保健センター
 ●東山支所保健福祉課☎47-4530

＜室根地域＞

■おっと！転ばん塾 日時…2日⑧、10日⑧、20日⑧9:30～11:30
 ■健口！歯っぴー塾 日時…8日⑧9:30～11:30
 ■共通事項 会場…室根保健センター
 ■ふれあい会 日時・会場…10日⑧9:30～14:30・町外研修
 ●室根支所保健福祉課☎64-3805

＜川崎地域＞

■第26回かわさき健康福祉まつり 日時…4日⑧9:45～14:00
 ■てんとう虫教室 期日…28日⑧ 時間…(調理実習)10:00～12:00(障がい者アート交流(遊書))13:00～15:00
 ■共通事項 会場…川崎公民館

●川崎支所保健福祉課☎43-4022

＜藤沢地域＞

■デイクアすみれの会 日時・会場…9日⑧10:00・藤沢保健センター
 ●藤沢支所保健福祉課☎63-5304

2月の休日当番医

月	区分	医療機関	電話
5	西	内 寺崎内科胃腸科医院(青葉)	23-6211
		外 佐藤外科肛門科医院(山目)	26-5125
	東	川崎弥栄診療所(薄衣)	43-3114
		うちクリニック(東新城)	23-0087
		鈴木医院(階上)	27-2315
11	西	内 及川内科胃腸科クリニック(鳴神)	31-3131
		外 西城医院(舞川)	28-2393
	東	室根診療所(折壁)	64-2127
		大友病院(三日町)	22-6868
		佐々木小児科医院(本郷)	22-6811
12	西	内 氷室内科医院(青葉)	23-3185
		外 一関病院(大手町)	23-2050
	東	奥玉診療所(奥玉)	56-2751
		おだか医院(田中前)	22-3210
		小野医院(唐桑町)	32-3128
19	西	内 西城病院(八幡町)	23-3636
		外 笠原耳鼻咽喉科医院(五代町)	23-4916
	東	吉田内科循環器科医院(大原)	71-2131
		葛内科胃腸科医院(田中前)	22-6750
		三条小児科医院(田中前)	23-0088
26	西	内 小野寺内科循環器科(末広)	23-5600
		外 岡崎整形外科(三関)	23-7000
	東	千葉内科医院(長坂)	47-4163
		遠藤産婦人科医院(本郷)	22-6828
		中原クリニック(田谷)	23-1028

*診療時間…9:00～17:00
 *当番医は変更になることがあります。あらかじめ電話で確認してからお出掛けください
 *気仙沼(市外局番 0226)の当番医は災害時対応のため診療時間が異なります

2月の献血カレンダー

日	献血会場	時間
1⑧	岩手日日新聞社東台センター	9:30～12:00
	一関病院	14:00～16:30
2⑧	(株)ケーエムエフ	9:30～11:30
	日本端子(株)花泉工場	13:00～16:00
11⑧	イオンスーパーセンター一関店	10:00～16:00
	富士通ゼネラルエレクトロニクス 県立磐井病院	9:30～12:00 13:30～16:30
24⑧	三菱マテリアル(株)岩手工場	9:30～11:00
	(株)鈴清食品 市役所東山支所	12:00～13:00 14:30～16:00
26⑧	イオン一関店	10:00～16:00

*すべて全血献血です
 *天候などにより、時間や会場が変更になる場合がありますのでご了承ください

千葉大学大学院医学研究
 子どものこころの発達研究センター
 臨床心理士 河野暁子



河野 暁子
Kono Akiko

大切な人が悩んでいる時、あなたにできることは何でしょうか。まずは、悩みを聞いてみてください。

話を聴く。寄り添うことでできる支援

また、療内科や臨床心理士へつなぐこともあなたにできることの一つです。心に不安があっても、恥をさらすようだった、行きにくいなど心心の専門家を拒む人がいます。しかし、大変な時に支援を求めることは決して恥ずかしいことではありません。あなたからさっと背中を押してあげてみてはどうですか。

Interview 健康塾

藤沢町黄海 63歳
 石川澄子さん



Ishikawa Sumiko

Voice 元気のひみつ

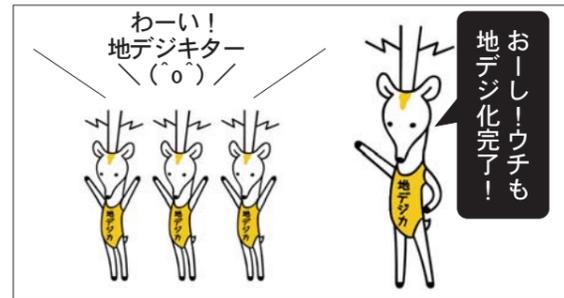
自作の美味しい野菜を作って、食べて

傾聴ボランティア「かだつてみっぺし隊」で活動しています。被災者との交流を通して、励ますより励まされている気がします。退職後、野菜作りをスタート。市内の産直にも出しています。野菜は作る人の足音で育つ。おいしい野菜を作るため、できるだけ多く畑に足を運びます。体をよく動かし、自作の野菜を食べることが元気の秘けつです。

地デジの準備はお済みですか？

◎問い合わせ先…市地デジ支援センター ☎32118

間もなく地上アナログ放送は終了します。
お早めに地デジの準備を(ばあちゃんの家編)。



一関文化センター催し物案内

◎問い合わせ先…☎2121 ホームページ <http://ichi-bun.com>

「第27回一関民俗芸能祭」



南部神楽の鶏舞や岩戸開き、鹿子踊りや田植踊りなど、市内の伝統芸能団体による歴史を刻み受け継がれてきた演舞にご期待ください。

- ◆日時…3月4日⑨ 9:00開場 9:30開演 16:00終演予定
- ◆会場…大ホール
- ◆入場料…800円(全席自由。入場料のうち100円は東日本大震災災害義援金として寄付します)

「文化センター利用者日程調整会議」

文化センター各ホール貸切利用の予約は、利用申込を先着順ではなく、ご参集の人による「利用者日程調整会議」により受付します。会議は毎月ではなく、3カ月毎に開催します。

- ◆日時…2月23日⑧ 8:30～(時間厳守)
- ◆会場…小ホール
- ◆対象年月…平成24年9月～11月分
- ※会場空き日は2月10日⑤以降、館内および同センターホームページに掲載します。
- ※申し込み人は、「会場予約申込書」を2月19日⑨までに文化センターに提出願います。事前に申込書の提出がない場合は、事前に提出された人の日程調整後に申し込みを受け付けることとなりますので、ご注意ください。

血博物館だより

◎問い合わせ先…〒021-0101 一関市巖美町字沖野々215 一関市博物館 ☎3180
ホームページ <http://www.museum.city.ichinoseki.iwate.jp>

らんがくがいてい 蘭学階梯



蘭学階梯

『蘭学階梯』は、一関出身の蘭学者大槻玄沢(1757-1827)の著作で、天明8年(1788)に日本で初めての蘭学入門書として出版されました。上巻では、オランダとの交流の起源、蘭学の由来と効用など、下巻では、オランダ語の初歩、舶来の書籍、蘭学を学ぶ上での注意を述

べています。この本に啓発されて蘭学を志すものも多かったようです。

『蘭学階梯』は、多くの版を重ねましたが、最後の出版にあたった須原屋伊八は、明治19年(1886)にその板木(版木)を、大槻家に譲り渡しました。この時、玄沢の孫大槻文彦は、百年も火災にも遭わず失われなかったのは神の加護のおかげ、これを玄沢の遺品の第一とすると、その喜びを記しています。

板木には、改訂した痕跡や、何層も重なった墨の跡がみられ、『蘭学階梯』の発行部数の多さ、影響の大きさを物語っています。

※『蘭学階梯』及びその板木は、博物館の「収蔵名品展」に展示されます。

博物館催し物案内

テーマ展 収蔵名品展

- ◆会期…1月7日④～3月11日⑨まで
- ◆展示解説会…2月19日⑨、3月11日⑨ 11:00～12:00
- ※バスの運行を行います。乗車希望者は博物館まで電話で申し込んで下さい。定員は先着各39人。
- ① 2月19日⑨ 大東・東山コース(大東支所 9:00、摺沢公民館 9:30、東山支所 10:00)
- ② 3月11日⑨ 藤沢・川崎コース(縄文ホール 9:00、川崎公民館 9:30)
- ※一関駅前、市役所本庁を經由。帰りは13:00 博物館発です。参加負担金は、入館料300円(ただし広報8月15日号に掲載した「観光施設等パスポート」持参いただくと入館料は無料です)。

「掲示板」は毎月1日号に掲載します。次回3月1日号の締め切りは2月9日⑧です。詳しくは、本庁市政情報課 ☎8182へ。

」掲示板

一関市スキー協会から

- ① スキー・スノーボードバスツアー
- ◆日時…2月11日④⑧ 7:20一関市総合体育館出発
- ◆会場…安比高原スキー場
- ◆定員・参加費…先着30人・一般3500円(協会員・中学生以下3000円)
- ◆受付期限…2月5日⑨
- ② 全日本スキーデモンストラーター「匠」講習会
- ◆日時…2月12日⑨ 9:45～
- ◆会場…まつるベスノーランド
- ◆対象・定員…18歳以上の人で中斜面を滑ることができる人・先着15人
- ◆参加費…5000円(リフト券など別途)
- ◆受付期限…2月11日④⑧
- ③ 市民スキー大会
- ◆日時…2月19日⑨ 9:30～

- ◆会場…まつるベスノーランド
- ◆種目…大回転
- ◆受付期限…2月11日④⑧
- ◎問い合わせ先…① 同協会事業部(小野寺) ☎090(2602)1118 ② まつるベスノーランド事務局(鈴木) ☎090(1067)5305 ③ 同協会事務局(小野寺) ☎090(7060)9704

第12回いわい美術展2012

- ◆日時…2月23日⑧～26日⑨ 10:00～17:00(最終日は16:00まで) ※入場無料
- ◆会場…一関文化センター展示室
- ◎問い合わせ先…いわい美術振興協会事務局(及川) ☎33824

街コンいちのせき

- ◆日時…2月25日④ 16:30～20:30(受け付け16:00～)
- ◆会場…一関文化センター2階大手門海石榴ほか
- ◆内容…街ぐるみでの合コンイベント
- ◆参加料…男性5000円、女性4000円
- ◎問い合わせ先…婚活さぼーと・絆(事務局武田) ☎090(8496)7159

第2回もちくらべバイキング

- 市内でもち食を提供する飲食店や団体を集めたバイキング形式のイベントです。
- ◆日時…2月12日⑨ 11:00～14:00
- ◆会場…道の駅巖美溪特設会場
- ◆料金・内容…700円・もち食バイキング
- ◎問い合わせ先…道の駅「巖美溪」 ☎292000

「満足の家」夢をカタチに約束します。これからも「住まいの工房」として、快適生活へのお手伝いを致します。

オール電化 電化リノベーション 水まわりリフォーム 古民家再生 外溝エクステリアetc... 『住まいのことならおまかせください!』

スーパーウォール工法は スーパーウォール工法

ハウス・オブ・ザ・イヤー イン・エレクトリック 2007 優秀賞を受賞しました

有限会社 オイカワハウジング

TEL 0191-74-3292 FAX 0191-74-3247 <http://www.ii-ie.net/oikawa/> e-mail: oikawa-housing@if-n.ne.jp 〒029-0603 岩手県一関市大東町沖田字霞沢39-1

日本製紙クリネックススタジアム宮城、そこには真剣勝負の世界がある。

がんばろう 東北!

私たちは、東北地方の1日も早い復興を応援してまいります。

日本製紙株式会社東北営業支社 〒980-0022 仙台市青葉区五橋1-1-10(第二河北ビル) TEL.022-262-3911代

日本製紙クレシア株式会社

募集

市景観まちづくり表彰候補
募集対象:「景観部門」周辺景観と調和し、優れた景観の形成に寄与している建築物など

県営住宅の入居者

募集期間:2月27日(月)〜3月2日(金)
申込方法:2月20日(日)から配布する申込用紙に必要事項を記入し、持参または郵送で

催し・講座

勤労青少年ホーム教室案内
身だしなみ教室「ネイルケア&ハンドマッサージ」
日時:2月14日(火)19時〜21時

多重債務者弁護士無料相談(予約制)
日時:定員:2月7日(火)22日(水)10時〜15時

信用生協の消費者問題・法律相談会(予約制)
日時:会場:2月9日(土)・千厩支所
内容:多重債務などの消費者問題、離婚・契約・相談

木材需要拡大セミナー「地震に強く環境にやさしい木造建築」
日時:2月4日(土)15:00〜17:00(開場14:30)
場所:ベリーノホテル一関

天下の奇祭「一関市・大東大原水かけ祭り」
厄落とし、大願成就の願いを込め、清めの冷水を全身に浴びながら裸男たちが通りを一気に駆け抜ける!
日時:2月11日(土)9:00〜(▶仮装手踊り9:00〜▶大しめ奉納行進11:00〜▶まとい振り、太鼓・山車など行進12:40〜▶水かけ開始15:00〜)

スポーツの広場「ソフトボールフェスティバル」
北京五輪ソフトボール女子日本代表監督の斎藤春香さんと2010年世界選手権銀メダリストの藤原麻起子さん(千厩町出身)を招いて開催します。
日時:2月12日(日)13:00〜

全国一斉!法務局休日相談所
期日:2月12日(日)
会場:盛岡地方法務局(盛岡市)など県内5カ所
内容:相続登記やいじめなどの人権相談など日常生活のいろいろな心配ごとの相談

2月は「省エネルギー月間」です。
国では、毎年2月を「省エネルギー月間」と定め、省エネルギーの意識啓発をはかっています。
財団法人東北電気保安協会

女性相談
日時:2月15日(火)10時〜16時
会場:女性センター相談室
対象:市内に居住する女性

お知らせ
市有地を先着順で売却します
市有地(宅地)を希望者に先着順で売却します。

エコファーマーマークの使用が停止されます
エコファーマーの認定を受けている人は、エコファーマーマークを使用できません

「日曜大工を楽しもう!」講座
日時:2月20日(月)〜22日(水)13時30分〜16時30分
会場:一関職業訓練校

法律相談:行政相談
無料法律相談(予約制)
日時:担当弁護士:2月2日(日)・熊本賢吾さん

多重債務整理:消費者救済資金融資相談(予約制)
日時:2月15日(水)28日(火)10時〜13時

女性センター特別講座
大巻き「祭りずし」に挑戦!
日時:2月29日(土)昼の部10時〜12時、夜の部18時30分〜20時30分

特設無料相談所:「日時」2月毎週10時〜12時(会場)岩手県司法書士会館(盛岡市)
司法書士事務所無料相談所:「期間」2月1日〜29日まで

「面積」158.78平方メートル(売却価格)402万円
「所在地」花泉町花泉字東鹿野18番2

創作折り紙教室
日時:3月10日(土)13時30分〜15時30分
講師:青木福子さん

心配ごと相談所
通常相談:「日時」2月2日・9日・16日・23日

「面積」158.78平方メートル(売却価格)402万円
「所在地」花泉町花泉字東鹿野18番2

「日曜大工を楽しもう!」講座
日時:2月20日(月)〜22日(水)13時30分〜16時30分
会場:一関職業訓練校

「面積」158.78平方メートル(売却価格)402万円
「所在地」花泉町花泉字東鹿野18番2

解体のことならお任せください。一般住宅・車庫・物置・倉庫から工場まで
廃棄物のリサイクル・中間処理も自社で行っております。
見積無料
例)4tダンプ1台あたり(運搬込み)一関地区 4,725円(税込)

身近な生活情報がいっぱい!!読みやすい新聞。それが岩手日日です。
購読料(1カ月) 2,243円(税込)
お支払い方法は自動振替をご利用下さい。
岩手日日販売株式会社 ☎0120-22-4317

※広告に関するお問い合わせは、岩手日日新聞社 ☎019-22-5111まで。



1「小物入れ付き物置台」も完成までもう一息/2「巣箱」に挑戦した川崎町薄衣の伊藤陽琉(はる)君は出来の良さに満足/3_作る前に、まず図面を確認/4_作業開始。木材に印を付けていく/5_技能士会青年部会員が丁寧に指導/6_曲がらないように集中して釘を打つ



親子で木工品づくりに挑戦

ものづくりの楽しさを実感「冬休み工作広場」

東磐地区技能士会青年部主催の「冬休み子供工作広場」は1月7日、千厩町の両磐地域職業訓練センターで開かれ、市内の児童29人とその父母が参加した。

参加者は▶小物入れ付き物置台▶巣箱▶フェルト入り小物入れの3つから一つを選択。親子で協力しながら製作した。

ものづくりの体験を通じて、楽しさを知ってもらい、ものを大切に作る心を育むことを目的に毎年行われている同広場。参加者は慣れない道具の扱いに悪戦苦闘。同青

年部のメンバー12人が、金づちやのこぎりの使い方、図面に書かれた組み立て手順を丁寧に指導した。

千厩字神ノ田の西條詩さん(千厩小2年)は「金づちを使うのが楽しかった」と笑顔。母親の美幸さんは「釘が曲ったりして大変。日頃使わない道具で大変だった」と苦笑い。

同センターの佐藤祐司所長は「体験を通じて、将来ものづくりの道に進む人が出てくれればいい」と未来の「職人」誕生に期待を寄せている。

Pick Up

母と子のよい歯のコンクール最優秀賞



永澤里美さん・蒼君

ながさわさとみ・そう 千厩町千厩

離乳食の時から食器などを別にして気を付けています。歯ブラシが好きですね。歯磨きを楽しんでくれています。



- 1 健康な歯を保つためにきちんと歯磨きをしよう
- 2 報告会に出席した受賞者と関係者ら

よい歯のおばあちゃん子コンクール最優秀賞

小山哲子さん・璃乃ちゃん

おやまてつこりの 大東町摺沢

時間を決めて、だらだら食べさせないようにしています。歯磨きが好きで、自分から歯ブラシを持って磨いています。



イー歯トープ8020コンクール最優秀賞



菅原寅雄さん

すがわらとらお 千厩町千厩

家で作った野菜をよく食べます。生活リズムは安定しているので、歯について特に気を付けていることはありません。



Pick Up

健やかな発育は健康な歯から

「23年度岩手県よい歯のコンクール」3部門で最優秀賞

「平成23年度岩手県よい歯のコンクール」で市内から推薦された3組が最優秀賞を受賞した。

同コンクールは、「母と子のよい歯のコンクール」「よい歯のおばあちゃん子コンクール」「イー歯トープ8020コンクール」の3部門。全てを独占したのだ。3歳児歯科検診を受診した子と母親、1歳6カ月児歯科検診を受診した子と祖母の中から「虫歯がない」「歯肉・歯列の状態が特によい」人を市が推薦。「80歳で20本以上の歯を持つ」人を歯科医師会が推薦した。

最優秀賞受賞報告会は12月20日、一関保健センターで行われた。齋藤昭彦市保健福祉部長は「多くの方が皆さんに続くよう、市も努力したい」とあいさつ。一関歯科医師会の梁川浩会長は「健やかな発育は、歯が健康であってこそ。一生自分の歯で食べていけるようにこのまま保ってほしい」とエールを送った。

歯の健康維持は家族の協力が必要不可欠。歯に関する知識の向上により、子供の虫歯の減少につながっているという。

七福人よりありがたの気持ちを含めて

10TH ANNIVERSARY 感謝祭

2012.1/23(木)~2/28(土)

新作衣裳発表会

期間中ご成約の方にうれしい10大特典!!

- 1 レンタルに使える10万円クーポン!!
- 2 ご両親衣裳 50%OFF!!
- 3 ご親族衣裳 20%OFF!!
- 4 ジュエリー割引券

ほか6大特典は店頭にて発表!

Bridal Salon SHICHIFUKUJIN

ブライダルサロン七福人

〒023-0003 岩手県奥州市水沢区佐倉河字慶徳44-1
TEL0120-188-500
TEL0197-23-8555
info@bs-shichifukujin.com
http://www.bs-shichifukujin.com
●フォトスタジオ フリエ
●ビューティーサロン フェリス完備

キレイに録って、好きな時に楽しめる!

仕事や学校で観られない昼の番組も、録画して好きな時間に観ることができます。連続ドラマも毎回録画予約しておけば、見逃す心配はありません。

HDD内蔵 STB

レンタル料は 月々/税込 **1,050円**

月額使用料金(税込)
3,570円+1,050円
2,310円+1,050円

ブルーレイディスクドライブ/HDD内蔵 STB

レンタル料は 月々/税込 **2,520円**

月額使用料金(税込)
3,570円+2,520円
2,310円+2,520円

ケーブルテレビ&インターネットの お申し込み・お問い合わせは

岩手日日新聞社グループ **icn 株式会社 一関ケーブルネットワーク**

〒021-0871 一関市八幡町1-24 TEL0191-21-1256 FAX0191-21-2959

わたしの夢 | <第4回> | 清田小

田児賢一選手と
同じチームでプレーするのが夢。
中学生になったら、
羽球部で団体メンバーに入る。



DREAMS COME TRUE

夢は見るものじゃなく、叶えるもの

三浦 大君

みうら・まさる
清田小6年 千厩町松森

僕は2年生からバドミントンをしています。5年生の時、全国大会に出場しました。練習は厳しいけど、勝った時の達成感がとてもうれしいです。好きな科目は社会。縄文や弥生時代の今にない道具がおもしろいです。バドミントンと長距離走には自信があります。中学生で頑張りたいことは勉強。羽球部に入って団体メンバー入りもしたいです。あこがれのバドミントン選手は田児賢一選手。夢は田児選手と同じN T T東日本でプレーすることです。

編集後記

▼県広報コンクール広報紙の部で市広報12月1日号が2位に選ばれ、県代表として全国広報コンクールへ参加します。取材・編集に協力いただいた全ての皆さんに感謝。これに満足せず精進します。

(伊東吉光)

▼リニューアル後に、たくさんの皆さんからご意見をいただいています。いずれもありがたい貴重な言葉ばかり。今後の誌面づくりに役立てていきたいと思えます。

(畠山 浩)

▼今月は取材で、赤ちゃん、若者、100歳とたくさんの方の笑顔に出会いました。成人式では、素敵な笑顔に乗せられてたくさん撮影したので選ぶのが大変でした。

(小野寺邦毅)

▼静雄さんの目標に向かって努力する姿に感動しました。今年の目標は、感動を与えられるような写真を撮ること。静雄さんを見習い、地道に頑張ります。

(佐藤正利)

▼おばあちゃんたちと会話する時、自然とあまり言葉になりません。不思議。「どっから来たのっしょ」「かだつてみっぺし」と、方言から生まれた各団体の名前に親しみを感じます。

(新田 瞳)